通 所 介 護 計 画 書（記入例）

【記入例】架空の利用者・事業所です。実在の人物・事業所とは関係ありません。書き方を示す例で、個々の利用者への助言ではありません。

■ ② 通所介護計画書（指定居宅サービス等の基準 第 99 条）

作成: 通所介護事業所の管理者 ／ 説明・同意: 利用者・家族 ／ 交付: 利用者

定員が一定数未満の地域密着型通所介護は、指定地域密着型サービス基準 第 27 条に同じ構成の規定があります。

▼ 基本情報

利用者氏名	**佐藤 太郎（架空）　様**
生年月日／年齢	昭和 20 年 6 月 10 日（81 歳）
要介護度	□要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5
認定有効期間	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 9 年 6 月 30 日
居宅サービス計画（ケアプラン）	作成日：令和 8 年 8 月 20 日 ／ 居宅介護支援事業所：□□居宅介護支援事業所
作成日	令和 8 年 9 月 1 日
作成者	管理者：田中 三郎（架空）
通所利用日	■月 □火 ■水 □木 ■金 □土 □日／週 3 回
送迎	■有り（自宅 ⇔ 事業所） □無し
食事	■昼食 □朝食 ■おやつ／食事形態：常食
入浴	■一般浴 □機械浴 □シャワー浴／週 3 回

▼ 心身の状況・希望・置かれている環境（第 99 条第 1 項）

心身の状況	**杖を使って歩く。階段は手すりがあれば昇り降りできる。移乗・排泄は自立。会話に問題はない**
本人の希望	「近所の商店まで、自分の足で買い物に行きたい」
家族の希望	妻：「昼間にひとりで過ごす時間を減らし、体を動かす機会をつくってほしい」
置かれている環境	妻と二人暮らし。玄関に段差が 2 段あり、手すりは片側だけ

▼ 機能訓練等の目標

目標（長期）	**令和 9 年 3 月までに：杖を使って、近所の商店まで休まず往復できる**
目標（短期）	3 か月以内に：椅子からの立ち上がりを、手で支えずに 5 回続けられる

▼ プログラム内容（具体的なサービスの内容）

時間帯	内容	担当職員
9:00〜9:30	自宅への迎え、到着、体温・血圧の確認	送迎職員・看護職員
9:30〜10:30	入浴（洗身は声かけで本人が行い、背中だけ介助）	介護職員
10:30〜11:15	個別機能訓練（椅子からの立ち上がり、杖での歩行）	機能訓練指導員
11:15〜12:00	水分補給、口腔体操	介護職員
12:00〜13:00	昼食、服薬の確認	介護職員
13:30〜14:30	集団体操、レクリエーション	介護職員
15:00〜15:30	おやつ、帰りの準備	介護職員
15:30〜16:30	送迎、自宅へ帰宅	送迎職員

▼ 個別機能訓練計画

実施目的	**■歩行能力維持 □嚥下機能維持 □認知症進行予防 ■社会交流 □その他（　）**
実施内容	■個別 □小集団 ■集団（椅子からの立ち上がり・杖での歩行・集団体操）
実施頻度	週 3 回／1 回 45 分
評価の方法と時期	方法：□FIM ■Barthel Index □その他（　）／時期：3 か月後（令和 8 年 12 月）

▼ 説明・同意・交付（第 99 条第 3 項・第 4 項）

説明日	**令和 8 年 9 月 2 日 ／ 説明した人：田中 三郎（架空）**
同意日	令和 8 年 9 月 2 日
交付日・受け取った人	令和 8 年 9 月 2 日 ／ □利用者本人 ■家族（続柄：妻）

上記の計画について、利用者及び家族に説明し、同意を得ました。

管理者	**氏名：田中 三郎（架空）　印**
利用者	氏名：佐藤 太郎（架空）　印
家族（代諾）	氏名：（記入例のため省略）　続柄：妻　印

▼ 実施状況・目標の達成状況の記録（第 99 条第 5 項・通所介護従業者が記録）

日付	サービスの実施状況	目標の達成状況	記録した人
令和 8 年 9 月 7 日（月）	入浴、個別機能訓練、集団体操を予定どおり実施	短期目標：椅子からの立ち上がりは、手で支えて 4 回	介護職員（架空）
令和 8 年 9 月 9 日（水）	入浴、個別機能訓練を実施。集団体操は見学	短期目標：手で支えて 5 回	介護職員（架空）
令和 8 年 9 月 11 日（金）	入浴、個別機能訓練、集団体操を予定どおり実施	短期目標：手で支えて 5 回、ふらつきなし	介護職員（架空）